ボーイズリーグニュース
BOYS LEAGUE NEWS
公益財団法人 日本少年野球連盟機関紙

2021年2月号
（令和3年2月1日）
第528号（月刊）
発行所　公益財団法人
日本少年野球連盟
（〒556－0004）
大阪市浪速区日本橋西1－3－19
南海日本橋ビル2階
電(06)6649－0061
FAX(06)6647－8989

2021年スローガン　原点に帰ろう！

4季連続！八幡南ボーイズ全国

最後まで食らいつき延長逆転サヨナラ!!

八幡南ボーイズが2年連続5回目の春季全国大会出場を決めた。決勝は延長8回、9回ともリードを許す苦境に立たされたが、粘り強い攻撃でくらいつき、小倉ボーイズを逆転サヨナラで下した。また、各地でも熱戦が繰り広げられ、千葉県支部では強豪・京葉ボーイズが、支部記録を更新する6年連続での春切符を獲得。2年ぶり3度目となる春の全国王者へ名乗りを上げた。【2～5、最終面にも関連記事】

第51回 春季全国大会支部予選

北九州支部（11月28、29日、12月5日・大谷球場ほか）

西村が大活躍

劇的なフィナーレを八幡南ナインがたぐり寄せた。4－5で迎えた延長9回裏。城野君のスクイズで追いつき、その後2死一、二塁として7番・西村君の打球は「二飛かと思った」という当たりだったが、右前にポトリ。二塁走者の渡辺君がヘッドスライディングで生還するとナインは両手を上げてベンチから飛び出し、歓喜の輪を広げた。

小学時代も含めて初めてのサヨナラ打を放った西村君は延長8回も躍動。1点ビハインドで2死一塁とアウトになれば試合終了という場面、中途半端なスイングにならないよう思い切り振った」と左中間に起死回生の適時二塁打を放った。

◇中学生の部【決勝】
小倉ボーイズ　001 010 111 6
八幡南ボーイズ　100 200 0－2X 5（延長9回）
【小】柳瀬、木葉－今村　【八】塚本、宮田創－西村
■木下、柳瀬（小）西村（八）

決勝の7回無死一、三塁、投前に同点のスクイズを決める小倉・木葉君

▶▶ 延長9回2死一、二塁、右前にサヨナラ適時打を放つ西村君

昨年大敗した王者苦しめた

八幡 2か月前の九州大会支部予選決勝では10点差で完敗した八幡南と互角に戦った。2－3の7回に木葉君のスクイズで同点。延長8回、9回はともに1点を先行して北九州支部の〝王者〟を追い詰めた。5年ぶりの全国切符は逃したがナインはやり切った表情。中尾監督は「最近は下位までよくヒットが出るようになった。自分たちで切り開ける力が備わっているのかな」と、うなずいた。

執念で勝った

勝ちたい思いが強かった。7回に追いつかれ、延長では2イニングとも1点を先行される展開。しかし、追い詰められても食らいついていけたのは、強い勝利への執念が理由だ。昨年11月初旬の九州大会は準決勝で敗れ、直前の長崎傳記念大会は初戦で姿を消した。ナインは「絶対優勝」を合言葉に、ケースを意識した打撃練習やバントの確実性アップに取り組んできた。「最後まであきらめず、ベンチから声で後押しができた」と古賀主将。バント練習の成果は延長9回の同点スクイズに表れ、またミスをしても皆でカバーしていった。

チームを引っ張った古賀主将。4回には2点適時打を放った

投手陣も踏ん張った。決勝こそ守備の乱れもあって5点を奪われたが、準決勝までは2失点以内。徳野監督は「塚本と安田がよく投げた」と本調子ではないなかで粘り強く投げた両投手をたたえた。

昨年は春夏の全国大会が中止となり3年生は涙。畠たちの分まで東京で大暴れして優勝したい」と意気込んだ。

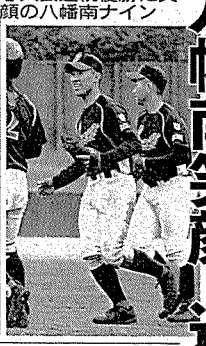
◇中学生の部【1回戦】
上津役 14時10分 八幡南
小倉 11④1 福岡門司
小倉東 6－4 八幡西
八幡東 10－6 山口防府
八幡 12④0 山口
八戸 9⑤2 宇部
【準々決勝】
八幡南 10－2 上津役
小倉 7時4 北九州中央
八幡ひびき 10⑤2 八幡東
小倉東 4タ3 八幡東

八幡南 10⑤1 戸畑
【準決勝】
小倉ボーイズ　301 011 3 9
八幡ひびきのボーイズ　000 012 0 3
【小】小島、木葉－今村
【八】佐伯、大谷澄、原民－藤浦、佐伯（八）
■今村、岡野（小）■宮井（小）
八幡南ボーイズ　1111 123 9
小倉東ボーイズ　000 000 0 0（6回コールド）
【八】吉原－西村
【小】高狩、浦上瑛－蒼尾
■永田（八）■藤井、農坂（八）
【注】成績の丸数字はコールド試合の回数。例えば④は4回コールド。タはタイブレーク。延は延長戦。抽は抽選。時は時間切れ。

2021年2月号　第528号　ボーイズリーグニュース

八幡南笑顔の連続優勝

2大会連続優勝に笑顔の八幡南ナイン



第2回 本田正記念大会

（12月12、13日・北九州市平尾球場ほか）

◇中学生の部【決勝】
小倉ボーイズ　003 010 4
八幡南ボーイズ　002 030 ×0 5
■渡辺、城野（八）■九木田（小）永田（八）
【小】柳瀬－今村　【八】吉原、吉岡－西村

九州ブロック内の4支部から中学生の部16チームが出場。決勝は、1週間前に行われた春季全国大会北九州支部予選の決勝と同じ対戦になり、八幡南ボーイズが小倉ボーイズに競り勝ち2週連続での優勝を飾った。

八幡南は2－4で迎えた5回に永田君の右中間への適時二塁打や城野君の左越え適時三塁打などで3点を挙げて逆転。小倉打線の反撃を抑えて逃げ切った。

小倉の前監督で2017年に亡くなった本田正さんの功績を記念して昨年から始まった大会。八幡南の徳野監督は「本田さんとは40年来の付き合いだった。今回もいいゲームができて少しは恩返しができたかな」と故人をしのんだ。

◇中学生の部【1回戦】
小倉 14④9 西福岡
二日市 10④0 赤間
八幡 8延5 戸畑
八幡南 6－1 刈田
八幡中央 6－5 西福岡
久留米 5－4 飯田
山口防府 4－0 武田
【準々決勝】
小倉 7－0 八幡
二日市 9⑥7 佐賀東
八幡南 8－1 福岡東
山口防府 6－2 久留米中央
八幡 16－1 福岡
久留米 8⑤1 東
小倉 8－0 松塚
【準決勝】
小倉ボーイズ　000 220 2
二日市ボーイズ　000 020 0 2
【小】小島－今村
【二】山領、小早－舟木、若松（二）
■安井（小）福田、若松（二）
■柳瀬（小）九木田（小）
山口防府ボーイズ　100 00 0
八幡南ボーイズ　011 7× 9（5回コールド）
【山】中島、温水、小林－三牧
【八】塚本－西村
■城野（八）